

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成28年7月14日 (2016.7.14)

【公開番号】特開2015-40235(P2015-40235A)

【公開日】平成27年3月2日 (2015.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-014

【出願番号】特願2013-170996(P2013-170996)

【国際特許分類】

C 0 8 J 9/12 (2006.01)

C 0 8 L 23/08 (2006.01)

C 0 8 L 23/10 (2006.01)

C 0 8 J 3/22 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 9/12 C E S

C 0 8 L 23/08

C 0 8 L 23/10

C 0 8 J 3/22

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月26日 (2016.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) メタロセン系触媒を用いて合成されたエチレン・ - オレフィン・非共役ポリエン共重合体ゴム 1 0 0 質量部、

(b) ポリプロピレン系樹脂 2 0 ~ 3 5 0 質量部、

(c) アルキルフェノールホルムアルデヒド樹脂系架橋剤 2 ~ 2 5 質量部、

(h) アクリル変性ポリテトラフルオロエチレン重合体 0 . 0 5 ~ 3 0 質量部、

(d) 塩化第一錫換算で 0 . 0 1 ~ 1 0 質量部に相当する量の下記マスターバッチ、
マスターバッチ：(d - 1) ポリプロピレン 9 0 ~ 3 0 質量%および(d - 2) 塩化第一錫 1 0 ~ 7 0 質量%を含む。ここで(d - 1) + (d - 2) = 1 0 0 質量%。

および、

(i) 水系発泡剤 0 . 0 1 ~ 1 0 質量部、

を含有することを特徴とするアルキルフェノールホルムアルデヒド樹脂系架橋剤で架橋された非発泡ポリオレフィン系熱可塑性エラストマー組成物との複合成形用水発泡熱可塑性エラストマー組成物。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の水発泡熱可塑性エラストマー組成物と、アルキルフェノールホルムアルデヒド樹脂系架橋剤で架橋された非発泡ポリオレフィン系熱可塑性エラストマー組成物との複合成形体。

【請求項 3】

共押出成形法により請求項 2 に記載の複合成形体を生産する方法。

【請求項 4】

(イ) 上記成分 (d - 1) 90 ~ 30 質量%と、上記成分 (d - 2) 10 ~ 70 質量%とを含む組成物を溶融混練してマスターバッチを得る工程；

ここで上記 (d - 1) と (d - 2) との和は 100 質量%であり；

(ロ) 上記成分 (a) 100 質量部と、

上記成分 (b) 20 ~ 350 質量部と、

上記成分 (c) 2 ~ 25 質量部と、

上記成分 (h) 0.05 ~ 30 質量部と、

成分 (d - 2) 換算で 0.01 ~ 10 質量部に相当する量の上記マスターバッチとを、溶融混練する工程；

(ハ) 上記成分 (i) を、上記成分 (a) 100 質量部に対して 0.01 ~ 10 質量部の量で添加する工程；

を含むことを特徴とする

アルキルフェノールホルムアルデヒド樹脂系架橋剤で架橋された非発泡ポリオレフィン系熱可塑性エラストマー組成物との複合成形用水発泡熱可塑性エラストマー組成物の製造方法。